

令和 7 年度「東京都環境影響評価審議会」第二部会（第 3 回）

日時：令和 7 年 9 月 22 日（月）午後 3 時 30 分～

形式：対面及びオンラインの併用方式

—— 会 議 次 第 ——

1 環境影響評価書案に係る質疑及び審議

（仮称）グローブライドみらいフィールドプロジェクト【2 回目】

【審議資料】

資料 1 「（仮称）グローブライドみらいフィールドプロジェクト」
環境影響評価書案 部会審議質疑応答

<出席者>

会長 片谷委員

第二部会長 宗方委員

愛知委員

安立委員

尾崎委員

袖野委員

羽染委員

廣江委員

水本委員

森川委員

保高委員

渡邊委員

(12 名)

関政策調整担当部長

藤間アセスメント担当課長

石井アセスメント担当課長

「(仮称) グローブライドみらいフィールドプロジェクト」

環境影響評価書案 部会審議質疑応答

項目	番号	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
大気汚染	1	大気汚染の発生源に守衛棟が入っているが、それほど大きくないのに、なぜ工事期間が長いのか。	大気汚染に関して、新工場棟の建設時期がピークになるが、水槽試験室と新守衛棟も同時並行して工事する計画となっており、それほど長い期間やるわけではない。	8/19 部会にて回答
騒音・振動	1	都民からの主な意見の中で、施設の稼働に伴う騒音・振動について心配されている方が多いという点で、確認したい。 現在の工場の稼働状況と、新工場棟が建ったときの24時間、365日の稼働状況の変化はどうなるのか。 今ある状態からどう変わるかが図書から読み取れないところに、市民から環境が非常に変わるのではないかという一種の不安を持たれているかと思うので、十分に説明して頂きたい。	予測評価上、新工場棟、新立体駐車場及び新守衛棟は24時間の稼働を予定しているが、実際は工場棟の一部のエリアだけが24時間稼働となる。現在、2号棟で行っているリールの生産ラインを新工場棟の中に持っていくことから、音の種類や時間などが大きく変わるような計画ではない。	8/19 部会にて回答
	2	24時間稼働するのは一部であるということは、特に夜間について、車の出入りが変わるということではないという理解でよいのか。 そのことも十分に説明して頂きたい。	従業員や車の移動も従来と変わらない。	8/19 部会にて回答
	3	振動の予測結果がかなり低いレベルになっており、事後調査で他の音と分離して測定するのはかなり難しいと思うが、ここまで静かになっているということを示すためにも、評価できるよう検討して頂きたい。 また、大気汚染と騒音について、モニタリングを求める声が出てきているため、ずっと稼働し続けるのであれば、きちんと細かな情報提供をしてほしい。	工事中はもちろん、供用後においても、敷地境界での騒音・振動をきちんと確認していきたいと考えている。 ただ、予測結果は負荷分だけであり、実際の測定では他の音に飲み込まれてしまうが、著しい影響が出ていないかモニタリングしていくようにする。	8/19 部会にて回答

項目	番号	指摘 質問事項等	事業者の説明等	取扱い
騒音・振動	4	施設の稼働に伴う騒音について、予測に反映した環境保全措置として「防音壁などを適切に設置」と記載があるが、評価に当たり、防音壁の効果をどのように予測しているのか。 住宅が近くて、普段静かだというところが気になる点かと思うので、よろしく願いたい。	解体工事の予測条件としての防音パネルや防音シートの設定は評価書案 p149 に示している。 また、工事の完了後の防音壁については、屋上に設備機械を集中的に配置するエリアがあり、そこに目隠し的なルーバーを入れる計画としている。これは隙間があるので、予測計算としては入れていない。 苦情等があったら、しっかりとした防音壁で囲いなおすことは可能である。 なお、主な騒音の原因となるコンプレッサーについては、屋内に設置をし、さらに必要であれば室内の防音効果を高めるような対策が可能である。	8/19 部会にて回答
	5	水槽試験室からの音について、現状でどのような音が発生し、どのような音の出方がしているか。	音の要因として、水の汲み上げ、排水をするポンプの稼働音が考えられるが、現状も基本的に大きな音は発生していない。新しい水槽試験室は屋内ということもあり、水の汲み上げ、排水を頻繁に行う計画はなく、影響は少ないと考えている。	8/19 部会にて回答
	6	音というのは大きさだけではなく、感覚公害である。24 時間稼働の場合、我々が一番気にするのは、やはり夜間の睡眠である。評価の大きさから考えると影響が出るとは思わないが、睡眠妨害は感覚公害ではなく、健康影響の入口となるので、住民の健全な生活を守る意味でも、少し違う視点でも検討している姿勢で接してほしい。 (コメント)	_____	8/19 部会にて回答
土壌汚染	1	土壌汚染に関して適切に対応頂けるということで問題ないと思っている。 都条例、土対法の手続きが必要であればしっかり対応していただきたい。 (コメント)	_____	8/19 部会にて回答

項目	番号	指摘 質問事項等	事業者の説明等	取扱い
地盤 水循環 共通	1	雨水浸透貯留槽が2箇所設置されるが、市民の中には、豪雨時等にあふれて周辺に水が流れ出て、住宅等も冠水するのではないかと心配をされている方もいる。 雨水浸透貯留槽から後の雨水の流れについて、この地域はどうなっているのか把握されているのか。	この地域は以前より冠水しやすいエリアであり、新しく導水管を引いて改善された経緯がある地域と聞いている。 今回、既に工場があつて舗装されているところを建替え、最新の雨水浸透貯留槽や排水路を整備するので、排水は現状より改善されると思っている。 また、適切な位置や容量について、市と調整し設定する。	8/19 部会にて回答
	2	揚水について、グローブライドの揚水量としては1.5倍になるものの、以前稼働していた隣の工場の分も含めた揚水量と比べると、減っているという説明であつた。図書にこのような記載がないため、もう少し「なぜ大丈夫なのか」がわかるように書いたほうがよい。 また、1号、2号、3号の地下水の採取位置は同じなのか。全然違うところだと話が違ってしまわないか。 深さが違うということで、説明も一緒にしない方がいい。	揚水については、西側の既存工場エリアで使っている1～2号井戸において、今後最大で1.5倍まで揚水量を増やす可能性があるため、1.5倍を予測条件としている。東側の旧事業者が利用していた3号井戸は将来的に使用しないため、1号、2号を1.5倍にしても総量として大丈夫そうだと説明したが、ご指摘のとおり、深度の違いがある。3号井戸については細かい資料がなく、採水位置の確認が取れていない。 単に揚水の合計量が減ったからよいという話ではなく、1～2号の適正揚水量との比較を行い、十分余力があることを確認しているので、1.5倍としても大きな地盤の変化や周辺井戸の水位の低下を招くことはないだろうと考えている。	8/19 部会にて回答

項目	番号	指摘 質問事項等	事業者の説明等	取扱い
景観	1	水槽試験室について、場所を変える検討をされているとのことだが、もっと深く掘って結果的に地上に出ている部分を低くするという対策はできるのか。 また、外から観察するためのガラス面があるかと思うが、それがどちら向きになっていて景観にどう影響するのか。	水槽試験室の機能としては二つあり、一つは水槽を使用して疑似餌の動きを確認する機能、もう一つは釣竿を曲げて強度試験を行う機能である。強度試験を行う上で、長い釣竿だと 10m 位になるため、どうしても高さが必要になる。 現状の設計は水槽での疑似餌のテストと釣竿のテストのエリアが分かれていて、水槽の低い位置で釣竿のテストをすることができないため、建物高さは下げられない。 また、水槽のガラス面については、水槽自体を屋内に設置するため、外からガラス面が見えることはない設計になっている。	8/19 部会にて回答
	2	水槽試験室について、現状、かなり圧迫感のあるものになっているので、青天井になっていれば建物そのものはあまり高くないかと思うが、どうか。 配置でのいろいろな配慮について、極力ご検討をお願いしたい。	現状、屋外で強度試験を行っているが、竿が折れて破片が飛ぶなどの安全上の問題が発生しているので、新しい設備では天井を張る必要があり、現計画としている。 配慮して改善していきたい。すぐ図面や数値により審議会でお示しできるかはわからないが、評価書や変更届などの条例手続きの中では、住民の方にわかるようにお示ししたい。	8/19 部会にて回答
廃棄物	1	建設発生土について、搬出台数を設定しているかと思うが、100%場外搬出で設定されているのか。 配置などが変更される可能性があるので、過大にならないような予測評価になっていけばよいと思うが、普通は場内で再利用する計画を先に立てて予測するのではないかと思う。	実際は場内での再利用等にも使われると思うが、予測上は最大影響をみるため全量場外搬出で設定しているはずである。 見直しで変更が生じた場合は、評価書や必要に応じて変更届でお示ししたい。	8/19 部会にて回答
温室効果ガス	1	太陽光設備を新工場棟の屋上に設置するということであるが、全部一面に設置されるのか。 その場合、既存の工場による日影になったり、効率的に問題ないのか。	全部埋めるということはせず一部に限られる。 シミュレーションしながら計画を進め、一番効率の良い場所に効率の良い向きで置くことを検討している。	8/19 部会にて回答

項目	番号	指摘 質問事項等	事業者の説明等	取扱い
その他 (環境全般)	1	住民の懸念に対して、できる限り環境負荷を減らす努力をするという姿勢を示すことで、信頼関係が強まっていくものと認識しているので、そのような姿勢が表にでるような回答をしていただきたい。 (コメント)	_____	8/19 部会にて回答
その他 (事業計画)	1	水槽試験室は敷地境界付近まで接近しなければならないものなのか。	試験に必要とする長さや深さが取れる場所がここしかなかったが、今はもう少し西側に移動して、形を少し変えるなど、なるべく近隣に迷惑がかからない配慮をする形で計画変更を考えている。	8/19 部会にて回答
	2	水槽試験室と隣接する住宅との間は緑化していく方向でお願いしたい。 (コメント)	_____	8/19 部会にて回答